



スマイル天神 No.6



令和3年5月10日
天神小学校
校長 木下 和弥

思いやりのある子・進んで学ぶ子・明るくたくましい子

運動会を実施するために…

先日の遠足は、天気にも恵まれ、子どもたちにとって2年ぶりの思い出になったようです。家庭訪問の中で、「子どもが興奮して前日寝られなかった」「すごく楽しみだったらしくて朝5時に起きた。」などのエピソードを、担任を通して聞きました。行事などの体験を通して、様々なことを学ぶことができることは、とても大切だと思います。

しかし、現在は、今までと同じような体験や行事などを保障することは非常に難しい状況です。新型コロナウイルス感染症の感染リスクをゼロにするには、「中止する」のが一番です。しかし、リスクゼロを目指す、何もできなくなります。逆にすべてを今まで通りに実施すると、感染の可能性が高くなります。大切なことは、感染リスクをできるだけなくす努力をしながら、教育活動を充実させることだと考えます。

様々な考えがあり、どれが正解でどれが不正解とは言えません。「感染リスクの高い高齢者や疾病のある方と同居しているため、どうしても子どもは参加できない」という場合もあるでしょう。そのような場合は、学校を休んでも、欠席ではなく出席停止として取り扱うこととしています。個人の事情はできる限り配慮すべきであると考えます。

さて、先週から運動会練習が始まりました。子どもたちの頑張る姿を見ると本当に心強く思います。当たり前にはできないこと、たくさん我慢しないといけないこと。それでも、みんなで力を合わせて頑張っていこうとする子どもたちの一生懸命さには胸を打たれました。この子どもたちの思いをぜひ形にしたい。校長として、できる限り、運動会を実施したいという思いをもっています。

しかし、学校関係者が新型コロナウイルス感染症に感染すると学級閉鎖・学年閉鎖・臨時休業となり、おそらく運動会は実施できません。

今日から運動会までの2週間が勝負だと思います。マスク着用。うがい・手洗い。手指消毒。人との接触・市外移動・不要不急の外出・外食を避ける…。

これらのことは、面倒な事・我慢をすることばかりです。しかし、大切なこと（運動会）を実施するためには、全ての児童・保護者・家庭・職員・職員の家族も含めて全員で取り組まなければなりません。子どもたちのために、子どもたちの思いを形にするために、そして、子どもたちの成長のために、「オール天神」で、みんなで面倒なことをしたり、みんなで我慢したりできないでしょうか。

そこまでの努力をしても感染することはあります。一斉臨時休業や、行事の全校一斉延期があるかもしれません。しかし、最善の努力をした結果としての感染・行事中止と、努力をしなかった結果としての感染・行事中止は、全く違うと考えます。

いずれにしても、感染者に対する人権的な配慮は絶対に必要です。運動会実施にかかわらず、大切な事です。人権教育については学校でも充実してまいります。（裏面参照）

文章ばかりの長文をお読みいただき、ありがとうございました。子どもたちのために運動会が実施できますように。

<参考>法務省のホームページから

http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken02_00022.html

新型コロナウイルス感染症に関連して - 差別や偏見をなくしましょう -

不安を差別に
つなげちゃいけない。

気づこう、
変えよう、
そのひとこと。
STOP! コロナ差別



コロナ対策のつもりが 過剰な反応になっていませんか？

思い込みが差別や偏見を生みます。また、悪質な行為には法的責任が伴います。

正しい知識・情報に基づいて行動しましょう。

「コロナ」は新型コロナウイルス感染症を指します。

今、みんなが不安に包まれやすくなっています。そんな時だからこそ、自分の言葉や行動が差別や偏見につながっていないか、「誰か」のことではなく「自分のこと」として考えてみるのが大切です。悪意がない言動が人権侵害につながることもあります。そして、感染対策にも影響を与える可能性があります。正しい知識と情報をもとに行動しましょう。それが、新型コロナウイルス感染症から、自分を、家族を、みんなを守ることに繋がります。